

平成26年度当初予算と各種主要事業

2014年は市制施行60周年
新たなステージの幕開けにふさわしい年に



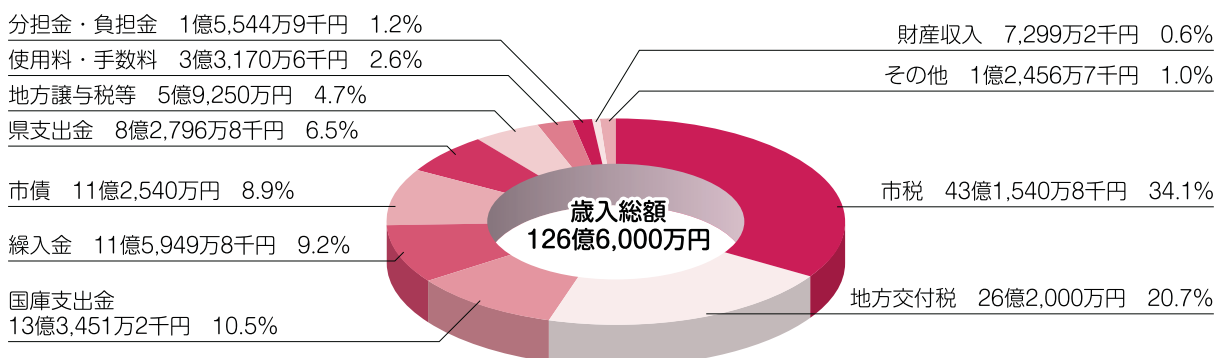
平成26年度当初予算が、市議会3月定例会で議決されました。

2014年は、市制施行60周年の記念すべき年であり、これまで先人たちが築き上げてきた「まちづくりの伝統と精神」を継承しながら、改めて初心に立ち返り、時代の潮流や市民のニーズにも対応した、新たなステージの幕開けにふさわしい年にしていきます。

また、本年が第6次長期総合計画の後期初年度となることから、引き続き、減災力のあるまちづくり、少子化対策、定住促進対策といった、恒久的な課題に取り組むとともに、協働のまちづくりに向けた各種事業を積極的に推進します。

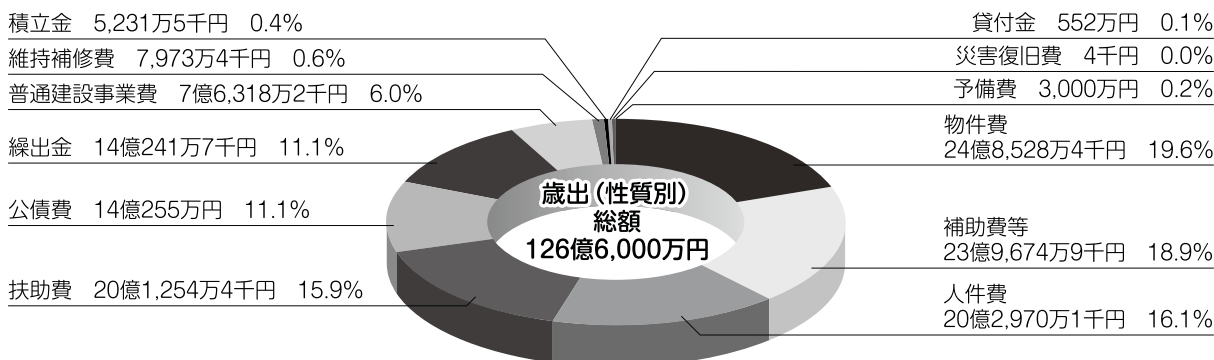
以下、平成26年度の主要事業の動向、並びに施策の取り組み等について、内容をご紹介します。

歳入

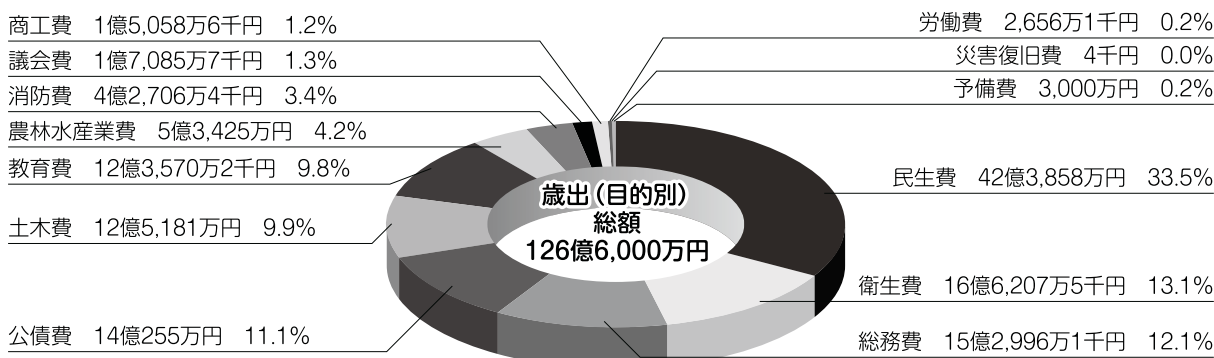


※地方譲与税等は、地方譲与税のほか利子割交付金、配当割交付金等の各種交付金の合計額を記載している。

歳出(性質別)



歳出(目的別)



将来を担う子どもを のびのび育むまちづくり

子育て環境の充実

「木の香り漂つ、ぬくもりのある保育園」を主要コンセプトに、園児が家族と離れて過ごす初めての場所として、また、保護者が子どもを安心して預けられ、園児一人ひとりが安全に、かつ、活いきと過ごることができる「第二の住まい」となることを目指して、現在、整備を進めている再編保育園整備事業は、実施設計が完了したことから、本年度、建築主体工事や電気・



再編保育園第一園の完成予想パース

快適な学習環境の推進

機械設備工事などに、順次着手してまいります。
なお、完成は、平成27年2月末を予定しています。

子育て支援の充実

地域全体で子育て支援を行うことを目的に、未来を担う子どもの健全育成や、子育て中の親子の支援に協力していただける人材を養成するため、本年度「子育てボランティア養成講座」を開催します。その後、子育てボランティアとして登録し、平成27年度から、市内各所で子どもとふ

れあうなど、子育てをサポートしていただくことにしています。

甘利小学校の学校生活における快適な学習環境を確保するため、本年度からの三年計画で、大規模改修に取り組みます。

また、児童・生徒のいじめや不登校の問題、学力向上に向けた教育課程の課題など、複雑・多様化する昨今の教育環境下において、課題解決に向けた専門的な指導が求められていることから、本年度、教育課内に指導主事一名を配置し、課題の解決、計画目標の確立及び指導体制の強化を図ります。

医療体制の充実

産婦人科医院の誘致については、県内の医療法人が本年夏の開院に向け、準備を進めていますので、市民が安心して子どもを産み、育てる環境が一日も早く整つよう、積極的に支援してまいります。

福祉相談窓口の整備

福祉に関する最近の相談内容は複雑多岐にわたり、そのつど、行政の専門員をはじめ、民生委員、教育関係者等、多くの相談員が関わっています。このため一つの窓口では対応しきれず、相談者にとっても重い負担となっていました。

そこで、4月から市役所内に「福祉総合相談支援窓口」を開設し、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師の3名が相談専門員として常駐することで、一括して対応が可能なワンストップ相談体制を整備することにしました。

また、来庁相談だけでなく、地域や家庭へも出向き、相談者への速やかで、細やかな対応にも努めます。

誰もが安心して暮らせるまちづくり

高齢者福祉の充実

高齢者の死亡原因の上位にある肺炎は、ワクチン接種で予防できることから、満65歳以上の方などを対象に、肺炎球菌予防接種費用の一部を助成します。

防災・減災体制の強化

昨年度から実施してきました「地域減災リーダー育成事業」は、現在、受講・認定試験を終えた市民220人余りを認定していますが、本年度も、継続して養成講座を開催します。なお、認定者のスキルアップを図るための「減災リーダー連絡協議会」を設置し、減災意識の普及・向上に努めるほか、住民自らが地域を守る「共助」の意識を一層拡充するため、「自主防災組織連絡協議会」も創設し、相互連携による情報交換の場として活用してまいります。

また、地域の消防団活動を支援するための「消防団活動協力員制度」と、従業員が消防団活動に従事しやすい環境の整備を推進するための「消防団協力事業所表示制度」を

将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり

予算額 (千円)

子ども医療費助成事業	119,809
ひとり親家庭医療費助成事業	19,666
児童センター管理運営事業	36,941
児童手当施行事業	512,205
地域子育て支援センター管理運営事業	25,975
子育てボランティア推進事業	389
子育て世帯臨時特例給付金支給事業	45,910
母子保健事業	26,512
保育園運営事業	300,969
病児・病後児保育所運営事業	14,736
私立幼稚園奨励補助事業	30,643
指導主事設置事業	9,725
小中学校運営事業	98,698
小中学校施設管理事業	73,792
甘利小学校大規模改修事業	44,792
育英奨学金貸付事業	5,520

誰もが安心して暮らせるまちづくり

予算額 (千円)

予防接種事業	83,155
健康診査事業	4,562
がん検診事業	49,543
健康ふれあいセンター管理運営事業	36,080
産婦人科医院誘致助成事業	32,500
みんなで支える地域福祉推進事業	12,354
老人福祉センター管理運営事業	14,395
老人保護措置事業	74,423
臨時福祉給付金支給事業	79,061
重度心身障害者医療費助成事業	129,375
障害者自立支援事業	631,365
消防団運営事業	66,318
災害対策事業	12,136
木造住宅耐震改修促進事業	4,540
生活保護施行事業	328,944
地域雇用推進事業	4,059
※葦崎市立病院運営事業	2,980,134
※国民健康保険運営事業	3,383,955
※後期高齢者医療保険運営事業	269,180
※介護保険運営事業	2,296,497

※印は、特別会計・企業会計

創設し、市民並びに企業の協力をいただきながら、地域消防力の向上にも努めます。

また、葦崎東中学校は、地震や台風などの大規模災害時において、地域防災拠点となることから、県の「再生可能エネルギー等導入推進基金」

心地よい定住環境のあるまちづくり

道路の整備

通学路の安全対策に重点をおき、整備を進めている市道藤井6号線道路整備事業は、文化ホールから北東小学校までの、西側の路肩整備が完了しましたので、本年度から東側の歩道整備に着手します。

また、穴山町ふれあいホー

を活用して、太陽光発電施設と蓄電設備を設置することにしました。

これにより、災害における停電時においても、情報収集等のための安定した電源が確保されます。

ルへの進入路である市道穴山22号線は、道路が狭く、消防車や検診車の通行が困難な状況にあることから、本施設へのアクセスを向上させるため、本年度から拡幅整備を進めます。これにより、地域防災の強化を図り、安心・安全なまちづくりに寄与することとしていきます。

公共交通網の整備

平成12年に導入した市民バスの老朽化に伴い、現在運行しているすべての路線に、新たなバスを導入することにしました。

新車輛は、児童、障がい者、高齢者に配慮した低床バスを購入し、さらなる利便性の向上を図ることにしています。

また、2年間にわたり、モデル事業として実施してきた「高齢交通弱者支援モデル事業」については、本年度から新たに「高齢者タクシー利用助成事業」として本格的に導入し、公共交通空白地域である、穂坂町の五地区に居住する高齢者の社会参加の促進等を積極的に支援します。

魅力あふれるまちづくり

農業基盤の整備

県営中山間総合整備事業については、本年度において、用地買収、補償等が完了した地区から、順次工事に着手します。なお、ほ場整備の換地計画、営農飲雑用水の工事についても、推進協議会と連携しながら進めていきます。

また、県営畑地帯総合整備事業については、農業後継者の育成と遊休農地解消のための基盤整備事業として取り組んでいる日之城地区において、本年度、区画整理工事及び農道整備工事を実施します。

一方、耕作放棄地の解消と

心地よい定住環境のあるまちづくり

予算額 (千円)

環境衛生事業	4,150
浄化槽設置促進事業	34,356
環境教育事業	1,004
廃棄物処理対策事業	66,606
資源リサイクル推進事業	17,738
エコライフ普及促進事業	9,230
持家住宅定住促進助成事業	5,500
住宅リフォーム促進事業	5,000
市民バス運行事業	57,049
赤字バス路線維持対策事業	11,176
高齢者タクシー利用助成事業	3,593
市単独道路整備事業	186,067
市道(穂坂)97号線道路整備事業	1,923
市道(藤井)6号線道路整備事業	30,614
市道(穴山)22号線道路整備事業	20,763
堀切橋拡幅整備事業	47,510
※水道事業	1,466,162
※公共下水道事業	1,473,182

※印は、特別会計・企業会計

発生防止のための基盤整備事業として取り組んでいる大草地区においては、中の割工区の換地原案図の作成、割羽沢川への橋梁新設、農道整備工事を実施していく考えです。

次に、新たな担い手を確保し、農業振興を図るため、国の「青年就農給付金制度」に加えて、本年度、市独自の対策として、「新規就農者支援事業助成金」の支給対象年齢を45歳から55歳に拡大することになりました。

商工業の振興

第二期「まちなか活性化計画」に基づき、プレミアムふれあい商品券の発行事業や、のれんを活用したソフト事業等を継続的に実施するほか、まちなかミニシアター事業など、新たな事業にも取り組み、まちなかへの集客による賑わいの創出に努めます。

また、穂坂のぶどうなど、地域の資源を活用して、全国規模のマーケットを視野に入れた、新たな事業計画を策定する商工会を幅広く支援し、農商工連携による新たな特産品の開発や、地域の課題解決

魅力あふれるまちづくり

	予算額 (千円)
県営畑地帯総合土地改良事業	53,760
小土地改良事業	83,985
農業体質強化基盤整備促進事業	40,010
県営経営体育成基盤整備事業	18,000
県営中山間地域総合整備事業	45,071
農業施設防災・減災推進事業	12,651
新規就農者支援事業	27,630
まちなか活性化推進事業	20,077
農工商連携推進事業	600
観光施設管理事業	21,377
武田の里まつり補助事業	18,410
歴史と景観のまちづくり事業	3,426
地区公民館管理運営事業	38,028
市立図書館管理運営事業	57,638
全国高校総体開催事業	8,639
史跡新府城跡環境整備事業	11,799

JR東日本との協議が整い、本年度、韮崎駅構内法面のおよそ680平方メートルのエリアに、約1300本のツツジを植栽することにしました。

観光基盤の整備

地球温暖化の影響等により、近年、夏季に猛暑日が連続することから、生涯学習の拠点である地区公民館での熱中症等のリスクを回避し、地域住民が快適かつ安心して活動に専念できるよう、すでに設置済みの韮崎、穴山を除く、全地区公民館の小会議室や和室にエアコンを設置します。

生涯学習の推進

に向けた取り組みを協働で実施します。



韮崎駅前広場の整備とも相まって、開花時には本市の玄関口にふさわしい情景が広がり、市民並びに本市を訪れる観光客等の目を楽しませてくれることに期待しています。次に、甘利山広河原駐車場へのトイレの新設についてであります。今年度、南アルプスがエコパークに登録される見込みとなっており、レンゲツツジのシーズンを中心に、多くの観光客が訪れる甘利山も構成エリアに含まれること

から、既存の休憩舎を取り壊し、跡地に多目的環境配慮型トイレを新設することになりました。これにより、自然環境の保全と観光客の利便性向上の両立を図ります。

市制施行60周年記念事業

本年10月に開催する記念式典において、大村智名誉市民による記念講演を計画するほか、例年の花火大会、ふるさとまつりの規模を拡大するなど、60周年にふさわしいイベントとして、内容の充実を図ります。

また、多くの市民の顔写真で描く「モザイクアート」の制作、本市のイメージキャラクター「ニラ」のコンセプトでもある「夢をかなえる」をキーワードに、市民の願いを募集し、実現可能な願いを実際に形にするなど、新たな取り組みにも意を注ぎ、市民の皆さんと喜びを共有しながら、心に残る企画を展開していきます。

また、耕作放棄地への花の植栽や町内適地へのわに塚の桜・後継樹の植樹など、「花と歴史、文化が融合したまちづくり事業」を、神山町の皆さんとの協働で実施します。

人が集う交流のあるまちづくり

予算額 (千円)

韮崎市民交流センター管理運営事業	67,718
文書管理事業	23,443
事務事業外部評価実施事業	153
広聴広報事業	24,836
男女共同参画社会づくり事業	1,442
地区活動推進事業	23,739
国際交流事業	4,451

人が集う交流のあるまちづくり

サッカーのまちとして

南関東4都県で開催される「全国高等学校総合体育大会」(大会スローガン「君の汗輝く一滴 勝利の雫」)では、本市をサッカー競技のメイン会場として、全国から55チームをお迎えし、8月1日の開会式から7日の準決勝まで、韮崎中央公園を中心に熱戦が繰り広げられることになっていきます。

大会期間中は、すべての関係者に満足していただける運営とおもてなしに心がけ、「サッカーのまち にらさき」の名を全国に発信していくこと



にしていますので、皆さんのご協力をお願いします。

なお、大会に際しましては、地元の高校が県予選を勝ちあがり、市民の皆さんとともに歓喜に沸き上がる大会となりますことを、大いに期待しています。

また、本年は4年に一度のワールドカップが、ブラジルで開催されます。

激闘のアジア予選を勝ち抜いたサッカー日本代表が、世界の強豪との戦いに挑みます。本市では、前回大会と同様に、日本代表の試合を多くの市民とともに応援するべく、パブリックビューイングを開

催する予定にしています。キックオフの時間帯が早朝となりますので、関係団体と調整しながら、蕪崎市からブラジルに向けて、熱い声援を届けたいと思います。

また、市民交流センター「ニコリ」において、日本代表の選手の写真などをパネル掲示し、日本代表のワールドカップの軌跡を紹介したいと考えています。

様々な情報の発信

本市の観光やイベント、市民生活に直結する市の施策に関する情報のほか、その時々話題をタイムリーに情報発信するため、市民交流センター内にFM八ヶ岳のサテライトスタジオを誘致することにしました。

なお、FM八ヶ岳の放送エリアが、ほぼ市内全域をカバーしていることから、今後、災害時などにおける緊急情報の伝達手段としても、大きな効果を発揮するものと考えています。

移住・定住の促進

本年度は、県内自治体や住宅関連企業、金融、広告業などで構成される『やまなし移住・交流推進協議会』に加盟

し、これら関係団体等との連携を密に図りながら、より一層の移住・定住の促進に努めます。

また、若者の移住を積極的に受け入れ、活気に満ちた魅力あるまちづくりを推進するため、新たに本市へ就職を目

健全な行政活動によるまちづくり

社会保障・税番号制度への対応

昨年5月、国会において可決・成立した「社会保障・税番号制度」は、平成27年10月からの個人番号の付番・通知、平成28年1月からの利用とカード交付といった、今後のスケジュールが示されています。



健全な行政活動によるまちづくり

	予算額 (千円)
職員研修事業	4,902
行政改革推進事業	62
賦課徴収事業	38,566
情報システム管理事業	314,642

的に転入する若者に対し、就労後一年を経過した時点で10万円を支給する「若者定住就職奨励制度」を新設することになりました。

より多くの若者の、本市への定住促進に繋がることを期待しています。

ます。

これに伴い、本年度には番号制度対応システムの構築が必要不可欠であることから、現行の基幹系システムを新システムに更新します。

引き続き、国及び県との情報共有により、円滑かつ適正な運用管理に努めます。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の一部助成を開始します

肺炎球菌は、肺炎を引き起こす原因となる病原体の一つで、特に高齢者が発症すると重症化する傾向にあります。

市では、肺炎球菌を起因とする、肺炎の発症及び重症化を予防することを目的に、予防接種費用の一部を助成します。早めに接種を受けるようにし、予防に努めましょう。

対象者

◇接種日現在65歳以上の方
 ＊実施期間中に65歳の誕生日を迎える方は、誕生日の前日から対象になります。

◇接種日現在60歳以上65歳未満の方で、心臓や腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害がある方

＊市内に住所を有し、市税等の滞納がない方

＊過去5年以内に肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けていない方

＊予防接種に係る費用に対し健康保険の適用のない方

■実施期間 4月1日(火)～平成27年3月31日(火)

■申請方法 助成を希望する方は、健康

保険証及び印鑑をご持参のうえ、保健課窓口にて申請してください。申請後に予診票を交付します。

＊生活保護を受給の方は、生活保護受給者証明書の提出が必要です。

助成額

接種費用の1/2
 (上限4千円、100円未満切捨)

＊差額は、医療機関の窓口にて自己負担となります。

＊助成は1人1回限り。

＊指定医療機関以外で接種した場合は、原則全額自己負担となります。

接種場所 指定医療機関

＊申請時にご確認ください。

■接種までの手続

- ①保健課窓口にて申請
- ②指定医療機関に予約
- ③接種日が決まりましたら、『予診票』に必要事項を記入
- ④接種当日は、予診票・保険証等をお持ちのうえ接種

■お問い合わせ・お申し込み 保健課健康増進担当 (保健福祉センター内)

☎2314310

